

島嶼GP 2年生 美底恭子です。

現在は波照間診療所で勤務しながら大学院で学んでいます。1年次は、波照間から宮古島へ通い、集中講義の時に本校へ行きました。何故そんな遠くから通うのかと、皆さん疑問に思うようです。私の地元は宮城県です。東京で看護専門学校を卒業し、燃え尽き症候群になるからダメと教員に言われながらも、どうしても最初に広く深く多種の疾患や救急処置を学びたいと思い、2年間救命救急センターで勤務後、今度は逆に高度医療のない、へき地医療を経験したいと思い、離島の多い沖縄に行ってみようと思い、軽い気持ちでやって来ました。あれこれする内に、17年・・・やがて仙台で暮らした時間を超します。



ディサービスの水泳に参加



波照間での経験は、病院看護師だった頃には味わえなかった充実感と責任感があります。これが島嶼看護への思いなのかなーと考えています。充実感とは、たった一人しかいない看護師なので(他に医師しか医療者がいない島です)それはそれは赴任当初は大切にされました。野菜をくれたりニコニコ笑顔であいさつしてくれ、とってもいい気分でしたよ。年月が経ち、今度は島内の問題などが見え始め、ちやほやされてる場合ではなく、責任感が求められるようになりました。介護保険制度などが始まると、なんだか分からない事をTVが言っている。もちろん聞かれるのは医療者です。わからないでは済まされず勉強するしかない！ケアマネの資格を取り、居宅介護支援事業所立ち上げに関わったり、認知症ケア専門士を取ったりしていました。よく考えてみると長年診療所で勤務しているが、島嶼看護について学んだ事がなく、自分の経験を言動化・文書化したこともなかったため、大学院で学びたいと思いたいま勉強中です。

テニアン島(海外実習)

訪問看護のフィリピン出身の看護師さんいつも笑顔で看護が大好きで楽しいーと言っていました。彼女も大学で学びたいと意欲がありました。



テニアン島

老人センターで出会ったパワフルなユリシーさん、SPで波照間のオーバーとお話させたいです。



テニアン島(ヘルスセンター)

日本にはいないNPです。美人で島の事を熱く思っている看護師さん